

## 平成26年度第1回 京都市環境影響評価審査会

### 【 摘 録 】

日 時：平成26年5月9日 10:00～11:40

場 所：職員会館かもがわ3階 大多目的室

出席者

委 員：①池田有光委員，②板倉豊委員，③岩嶋樹也委員，④大西有三委員，⑤笠原三紀夫委員  
⑥勝見武委員，⑦倉田学児委員，⑧柴田昌三委員，⑨島田洋子委員，⑩武田信生委員  
⑪徳地直子委員

議 題：「奈良線第2期複線化事業」に係る方法書についての審査

議 事        1 開会  
              2 議事     以下のとおり  
              3 閉会

### － 摘 録 －

事 務 局     現在，11名の出席を頂いている。京都市の環境影響評価等に関する条例施行規則に基づき，総数15名の過半数を超えており，本審査会が成立していることを報告する。

事 務 局     以降の議事進行は，池田会長にお願いしたい。

池 田 会 長   それでは，議題「奈良線第2期複線化事業」に係る方法書についての審査を行う。  
              まず事務局から説明をお願いする。

事 務 局     資料1では前回の審査会で出た意見のほか，審査会を欠席された委員の意見を取りまとめてお示ししている。また，それらのご指摘を踏まえ，答申（事務局案）を，お示ししている。  
              資料2は，資料1の答申案部分を，そのまま抜き出し，答申書の形式に整えたものである。  
              資料3の参考4は事業者が行った意見募集の結果である。

#### < 資料1，資料2，資料3の参考4について説明 >

池 田 会 長   まずは，全般的事項について，ご意見はないか。  
              ご意見は無いようだが，事務局提示案のままでよろしいか。

一        同     （異議なしの声あり）

池 田 会 長   それでは原案のままとする。  
              続いて，騒音・振動について，御意見はないか。

岩 嶋 委 員   「調査回数」について，実際に季節変動があるならば，複数回測定するべきではないか。

- 笠原委員 騒音・振動に関しては、季節的変動要因があるとは考えられず、季節別変動を予測・評価した例は過去のアセスでは経験がない。住民意見でも騒音・振動が最大となると考えられる線路際の方たちの意見が多く、最大となる地点や複線化によるすれ違いなど、騒音・振動がより大きくなると考えられる地点、条件での予測が重要と考える。過去の同様な地点、条件での予測結果＋実績をも踏まえ、調査・予測・評価方法を採用すべきと考える。また、本アセスにおいては、京都市域外にも及ぶことから他地域でのアセスとの整合性も考える必要がある。
- 板倉委員 一般的に、季節によって騒音・振動の測定結果が大きく変わることは少ないのでは。
- 岩嶋委員 予測・評価まで求めなくとも、複数回の調査だけならそこまでの負担にならないだろう。
- 池田会長 それでは、「鉄道事業は、本来、通年で行われるものであるから、年間を通じて調査を複数回実施すること。」ということでしょうか。
- 一 同 (異議なしの声あり)
- 池田会長 ほかに、騒音・振動について、御意見はないか。
- 倉田委員 「レールの接合部」における騒音を懸念する住民意見が目につく。そこで、「環境負荷が最大となる要因」としての具体例として例示してみてもどうか。
- 事務局 ほかに、「列車のすれ違い」も環境負荷が最大となる要因としてあげられるのではないかと。
- 池田会長 それでは、「最大となる要因」の後ろに「(列車のすれ違い、レール接合部等)」と追加するというのでしょうか。
- 事務局 「環境負荷を低減する要因」の例示はいかがか。
- 板倉委員 「車両の軽量化」などが適当ではないか。
- 池田会長 それでは「環境負荷が最大となる要因(列車のすれ違い、レール接合部等)及び環境負荷を低減する要因(車両の軽量化)を踏まえた予測を行うこと。」と修正することでしょうか。
- 一 同 (異議なしの声あり)
- 池田会長 その他、御意見はないか。
- 武田委員 「工事の実施に際しては、あらかじめ周辺地域の住民に対し、詳細情報の提供と丁寧な説明を実施すること。」とあるが、「情報提供」については、騒音・振動だけに限ったことではない。全般的事項に記載すべきではないか。
- 笠原委員 「情報の提供」を求めているが、それだけでなく工事の際の配慮も求めるべきではないか。
- 池田会長 それでは「環境負荷の低減」を図るよう求めていますか。
- 勝見委員 全般的事項の方に移すと、「環境負荷」が何によるものなのか分からなくなる。「騒音振動等の環境負荷」としてはどうか。
- 池田会長 それでは、騒音・振動の情報提供を「工事の実施に際しては、騒音振動等の環境負荷の低減を図るとともに、あらかじめ周辺地域の住民に対し、詳細情報の提供と丁寧な説明

を実施すること。」と修正し、全般的事項に記載するというところでよろしいか。

一 同 (異議なしの声あり)

池田会長 以上で騒音及び振動について終了してもよろしいか。

一 同 (異議なしの声あり)

池田会長 それでは続いて、動物について、意見はないか。

柴田委員 「生息調査を行うこと」とあるが、これでは生息の有無を調査するという意味になってしまう。「生息環境調査」としてはどうか。

倉田委員 方法書では、そもそも市域では何も調査しない方針になっているので、「オオムラサキ及びオオウラギンヒョウモンに加えて」と記載するのはおかしい。

池田会長 それでは、「オオムラサキ及びオオウラギンヒョウモンに加えて」という表記は削除し、「沿線のまとまった緑地において、動物の生息環境調査を行うこと。」と修正するというところでよろしいか。

一 同 (異議なしの声あり)

池田会長 それでは次に、景観に移ってよろしいか。

一 同 (異議なしの声あり)

池田会長 景観について、意見はあるか。

岩嶋委員 「防音壁等が設置される」よりも「防音壁等を設置する」の方がより良いのではないか。

池田会長 ただいまのとおり修正してよろしいか。

一 同 (異議なしの声あり)

池田会長 それでは最後に、全体をとおして何か意見はないか。

一 同 (異議なしの声あり)

池田会長 それでは、これまでの審議を踏まえ、修正した答申を全文、事務局にて読上げていただく。

事務局 < 修正した答申案を読み上げ >

池田会長 只今の読上げた内容で答申として、よろしいか。

一 同 (異議なしの声あり)

池田会長 それでは只今の修正をもって答申を確定させる。

< 答申書の受け渡し >

11:40 終了